

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会（第25期・第8回）議事要旨

1. 日 時 令和4年7月6日（水）10:00～12:05

2. 会 場 遠隔会議（主催会場：東京大学辻教授室）

3. 出席委員（敬称略，*参考人）

大倉 典子，丹下 健，宮崎 恵子，遠藤 薫，小野 恭子，蒲池 みゆき，
片田 範子，鎌田 実，桑野 園子，合田 幸広，庄司 裕子，柴山 悦哉，
須田 義大，永井 正夫，野口 和彦，平尾 雅彦，松岡 猛，松尾 亜紀子，
水野 毅，矢川 元基，矢野 育子，新井 充，萩原 一郎*

4. 配布資料

資料1-1 第25期・第6回議事録

資料1-2 第25期・第6回議事メモ

資料2 次回以降安全工学シンポジウム運営について

資料3-1 カーボンニュートラル施策の影響検討フレーム

資料3-2 安全工学シンポジウム議論内容

資料4-1 工学システムに対する安心感等検討小委員会

資料4-2 安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員報告

資料4-3 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する
検討小委員会報告

資料5-1 意思の表出の申出書 見解：「安心」を感じる社会の在り方

資料5-2 見解：「安心」を感じる社会の在り方目次案

資料5-3 意思の表出の申出書 見解：「初等・中等教育にリスク教育の見解」

資料5-4 見解：「初等・中等教育にリスク教育の見解」目次案

5. 議題

(1) 前回議事要旨確認

第6回の議事要旨・議事メモを確認した。

(2) 安全工学シンポジウムについて

野口委員から，資料2に基づいて，安全工学シンポジウム運営における課題の説明がなされた．具体的には，ハイブリッド開催のため費用がかかっているが，一方で予稿集の売り上げが減っているため，このままでは，来期には，繰越金がなくなり，トータルで赤字になる見込みであることが説明された。

関連して，対処方法などについて種々意見交換がなされた．今後，安全工学会シンポジウム委員を中心にWGを作って，対処方法の案を纏めることとした。

(3) カーボンニュートラル施策の影響検討フレームについて

野口委員から，資料3-1に基づいて，現在の検討状況について説明がなされた．平尾委員から，資料3-2に基づいて，安全工学シンポジウムでの講演・総合討論について

て報告がなされた。関連して、種々意見交換がなされた。

今後の進め方については、分科会委員の意見を伺って（7月中）分科会としての案を纏めてから、連絡会と相談することとした。また、参考のため総合討論の資料（可能なもののみ）を分科会各委員へ配布することとした。

(4) 意思の表出の申出書及び各小委員会報告

・見解：「安心」を感じる社会の在り方

大倉委員から、資料 5-1 に基づいて、「意思の表出の申出書 見解」について説明がなされた。ついで、資料 5-2 に基づいて、見解：「安心」を感じる社会の在り方目次案の概要について説明がなされた。関連して種々意見交換がなされた。今期に見解を出すことについては、承認された。

・工学システムに対する安心感等検討小委員会

大倉委員から、資料 4-1 に基づいて、第 7 回小委員会について報告がなされた。11 月 5 日に学術フォーラムが開催されることが報告された。

・見解：「初等・中等教育にリスク教育の見解」

野口委員から、資料 5-1 に基づいて、「意思の表出の申出書 見解」について説明がなされた。ついで、資料 5-2 に基づいて、「初等・中等教育にリスク教育の見解」目次案の概要について説明がなされた。関連して種々意見交換がなされた。

分科会としては、協力するが、内容についてはドラフトが出てから検討することとした。

・安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員

野口委員から、資料 4-2 に基づいて、第 5 回小委員会及び安全工学シンポジウムについて報告がなされた。今期「報告」を出すことを検討していることが説明された。

・老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会

新井委員から、資料 4-3 に基づいて、第 5 回委員会について報告がなされた。アーカイブについては、問題もあるので、引き続き検討することになった。

(6) その他

- ・次回は、9 月頃に開催することとした。

以上